

①貫川寺（かんせんじ）

九州八十八ヵ所百八霊場
第36番礼所



御本尊はかつて尾鈴山に祀られていたが、昭和初期に貫川寺に移った。安産と子供の健やかな成長にご利益があるとされている。毎年、大晦日には除夜の鐘をたたくことができる。駐車場があり、車が止められるので、気軽に参拝できると思う。（浜端陽大）

③名貫橋（なぬきばし）



車道と歩道が分別されているため、双方が安心してわたることができる。都農町の主要通り。交通の量はさほど多くないが橋の先には急な坂があった。さびている部分が多く老朽化が目立っていた。橋の手すり部分には草が巻き付いていた。橋の上から見える名貫川は綺麗だった。（清美月）

都農町マップ 15班

浅田未羽 大村政乃進 河本敦志
清美月 浜端陽大



②三日月神社

Googleマップにすら
載っていない秘境の神社



秘境と言うものの実態はただ整備されていないせいか忘れ去られているだけのようである。一応裏道のようなものがあり、民家に通じていたことからその家の人が祭壇周りのみ整備しているようだ。くもの巣や刈られていない草が生い茂っていた。（大村政乃進）

④名貫川（なぬきがわ）



川の水が透き通っていてとても綺麗だった。川遊びや魚釣りができそうだった。流れはさほど速そうではなかったが大きい石が多く小さい子どもが遊ぶには少し危険だなと感じた。草木に囲まれており、空気がおいしく風通りが良いため、自然を存分に感じられる。（浅田未羽）

⑤上名貫神社 （かみなぬきじんじや）

菅原道真が御祭神の神社であり、出世成就や学業成就、農耕守護や災難除けのご利益があるとされている。江戸時代の頃、この神社の周辺には飛び石でしかわたることができない場所があり、その場所の川が氾濫した時は、神社を寝泊まりする場所として使っていた。神社内には公式ラインや公式HPの張り紙が掲載されており、訪問者が気軽にアクセスできるようになっていた。（河本敦志）

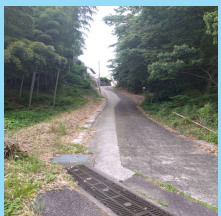


感想

地元の方からこの周辺では毎年12月頃に祭りが開催されると聞いた。それにも関わらず横断歩道が少なかったり、コンビニがなかったり人々が利用しやすい環境が整っていなかったもので、まず人々が利用しやすい環境を整えることが大事だと思った。

上名貫神社道中の急な坂

平坦な道が続いていたが
45度の急な坂道が100メートル
ほど続いていた



お話をしてくれたおじいさん

道中を歩いていたら声をかけてくださり上名貫神社について教えてくださった。

